

令和6年度第2回どっぶり高知旅キャンペーン推進委員会でいただいたご意見及び対応

参考資料 5

項目	ご意見	対応
プロモーション	● 県民に面白いと思ってもらい、県外に発信してもらえるようなSNS等での情報発信を期待したい。 ● 「どっぶり」と「あんぱん」を連携させた県外へのPRをお願いしたい。	● Instagram、X、TikTok、LINEを運用中。特にInstagramではいの町のリール投稿が約270万再生を記録（通常は5～6万再生）したことで、大幅なフォロワー増に成功。（R5:5.9万人→R6:7.4万人） ● KITTE大阪での「あんぱん」及び「どっぶり」のPRイベントの実施や、大手書店でのやなせさんのふるさと高知の観光PR、やなせさんが住んでいた新宿での「ハガキでごめんなさい」などを実施。
周遊促進	● 龍馬パスポートのスタンプについて、期間限定でやなせ先生のキャラクターを使った特別なスタンプを押せるようにし、県全体で盛り上がっている雰囲気を出せないか。	● 龍馬パスポートを活用した物部川エリアへの誘客と県内周遊を促進する特別企画を行いたいと考えている。また、県外のアンテナショップにおいて「あんぱん」と連動したレアスタンプ企画を実施することとしている。（R7.3.1～9.30）
受入体制	● 駐車場や渋滞問題の対策のため、シャトルバスを活用してはどうか。 ● 高知県は広く運転が大変なので、鉄道をもっと活用できないか。	● 物部川エリアでの地域博覧会「ものべすと」の会期中の繁忙期に合わせ、空港から物部川エリアの主要観光施設を巡る周遊バスを運行予定。香美市においても、やなせたかし記念館周辺の渋滞対策として、繁忙期における臨時駐車場の設置とシャトルバスの運行を予定している。 ● ものべすと開催に合わせ、JR四国・土佐くろしお鉄道・ジェイアール四国バス・とさでん交通と連携した周遊企画きつぷを造成予定。併せて、公共交通機関と接続するコミュニティバスを活用したモデルコースのPRも順次予定している。
どっぶり商品	● 広域観光組織などの様々な主体が取り組むどっぶり商品の販売実績を集計できないか。	● 現在、県で行っている商品造成では、販売実績の集計に協力が得られるよう、事業者との関係性を築きながら造成を進めている。今後の実績把握については、広域観光組織との連携等、集計に向けて方法を検討中。
あんぱん	● 初回パブリックビューイングの広報をしっかり行ってほしい。	● チラシを作成し、新聞広告を行う。併せて、開催エリア市町村にも広報を呼びかけており、広報誌への掲載を行っていただける予定。県のテレビ・ラジオなどでも広報していく。